

「子どもの水辺」再発見プロジェクトとは？

このプロジェクトは、「川に学ぶ」体験を推進する観点から、各組織が連携して「子どもの水辺」の選定・登録及び必要に応じ整備を行うことにより、**子どもたちの河川の利用を促進し、地域における子どもたちの体験活動の充実を図ろうとする**ものです。

平成10年の国の「川に学ぶ小委員会」の報告『川に学ぶ社会』をめざして」を受け、翌11年度より文部省・建設省・環境庁(当時)の3省が連携する『子どもの水辺』再発見プロジェクトが進められています。



子どもの水辺 サポートセンター

「子どもの水辺」とは？

各地域の「子どもの水辺協議会※」により、**下記のような観点から「子どもの水辺」として登録された水辺**のことです。

- ①子どもたちの遊び、学び、体験活動の場としての利用に適した水辺である。
- ②安全教育の実施や川の構造上から、子どもたちが安全に遊べる体制になっている。
- ③子どもたちの水辺での活動をサポートする団体等が存在し、利用促進の体制が整えられている。

※水辺を活用した体験学習や環境学習等の活動を行っている市民団体、行政、教育委員会、学校等により構成

「子どもの水辺」登録方法

登録 STEP 1

水辺を活用した活動を行っている方々やこれから行おうとする方々を集め、「子どもの水辺協議会」をつくります。

「子どもの水辺協議会」は、教育関係者※(必須)、河川管理者(必須)に加え市町村、学校、市民団体などの方々の参加により構成することができます。
※教育関係者：教育委員会、青少年教育施設、青少年教育団体、学校等の関係者

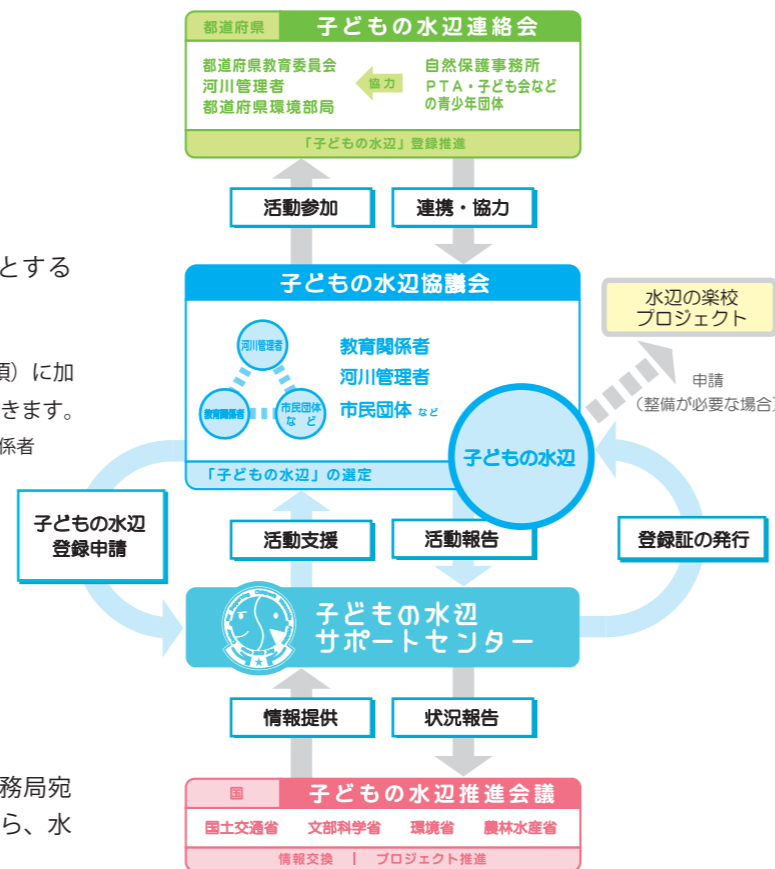
登録 STEP 2

協議会で「子どもの水辺」を指定した後、協議会の河川管理者が、「子どもの水辺協議会」と「子どもの水辺」の登録様式を当センターに提出し登録申請を行ってください。

登録 STEP 3

各省及び当センターでの審査後、当センターより協議会事務局宛に登録証を発行します。登録後は各構成団体と協力しながら、水辺を活用した活動を行ってください。

『「子どもの水辺」再発見プロジェクト』推進体制



子どもの水辺サポートセンターは、情報提供、各種講習会の開催、ライフジャケット等の資機材の貸し出し、学習教材の作成・提供など、各省庁・団体等と連携し、水辺での体験活動・環境学習がより広がるよう研究・支援を行っています。



子どもの水辺サポートセンターは、水辺での環境学習・体験活動を支援・研究しています。

1. 『子どもの水辺 再発見プロジェクト』の普及・推進

当センターは、『子どもの水辺 再発見プロジェクト※』に基づき「子どもの水辺」の登録受付・相談、及び本プロジェクトの普及・推進業務を行っています。(詳細はパンフレットの裏面参照)※文部科学省、国土交通省、環境省(農林水産省も協力)の連携施策

2. 水辺の活動に関する各種情報の提供

当センターでは、ホームページやメールマガジンなどにより、川遊びや水辺の安全対策など水辺での活動に役立つ情報を収集・整理し、発信しています。

→ <http://www.mizube-support-center.org>

3. 体験活動の支援

ライフジャケットやスローロープ、ヘルメット等、子どもたちの水辺体験活動に必要な、様々な資機材を無料(送料は自己負担)で貸し出しています。申込方法の詳細は、当センターホームページをご覧ください。 ※ Eボートのみ有料。



4. 学習資料の作成・提供

全国の小中学生等を対象として河川環境や水質、水辺での遊び方などを盛り込んだ冊子をはじめとして、子どもたちの学習の手引きとなる様々な副読本等の資料の作成・提供を行っています。



5. 連携・ネットワーク構築の支援

①川に学ぶ全国事例発表会

川や水辺を活かした活動を行っている学校や団体等の取り組み事例を毎年紹介し、教育関係者、市民団体、行政関係者、企業など多様な主体の方々が情報共有・意見交換する場を設けています。



②人材や団体の紹介

NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会(RAC)やNPO 法人自然体験活動推進協議会(CONE)等の指導者や、「子どもの水辺」に登録されている団体等を中心に紹介しています。

6. 人材育成の支援

①プロジェクトWET (水に関する教育プログラム)の普及



子どもたちが水について楽しく学び・考える教育プログラム「プロジェクトWET」の普及を行っており、学校の先生や団体・企業等の皆様を対象に、指導者講習会(エドゥケーター講習会)を各地で開催・推進しています。



プロジェクトWETのアクティビティ

②世界子ども水フォーラム・フォローアップ (国内最大級の子ども水会議)の開催

世界や日本の水事情、水問題等について話し合う国内最大級の子ども水会議を毎年開催し、次世代を担う子どもたちの育成を図っています。また、3年に一度開催される「世界子ども水フォーラム」へ代表を派遣し、参加しています。



世界子ども水フォーラム (イスタンブール) での発表

③川の指導者の育成 NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会(RAC)との連携



全国各地の川で活動するNPO法人や市民団体等で構成されている「NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会(RAC)」との連携により、地域における川の指導者の紹介や安全講座の開催等を行っています。



子どもの水辺安全講座

7. 各種調査研究事業

河川学習や防災学習、水難事故防止に関する調査研究

学校等の河川を活用した環境学習・体験活動の実施状況やその効果の定量化に関する研究、防災学習や河川環境学習の手引き書の検討・作成に関する研究、全国の水辺で発生している水難事故事例を収集し事故原因等を分析し、事故防止に向けた調査研究を行っています。

- 河川環境学習・体験活動の実態調査・効果等に関する研究
- 防災学習や河川環境学習の手引き書の検討・研究及び作成
- 水辺の安全利用・水難事故防止に関する調査研究及び啓発



水難事故マップの公開

8. その他

河川整備基金 (河川環境管理財団が管理・運営)

河川整備基金では、市民団体や小中高等学校等が行う河川環境教育などに対し助成を行っています。詳細は、河川環境管理財団ホームページをご覧ください。

→ <http://www.kasen.or.jp>